

麗澤教育充実資金

募金趣意書

令和4年度「麗澤教育充実資金」募金へご協力をお願い

日頃から麗澤教育にご理解とご支援を賜り、心から厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大は、医療・経済・国民の社会生活等に甚大な影響があり、不安な毎日をごされている方々も多いと考えます。

また、感染等健康被害にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げます。

コロナ禍の厳しい環境下において、知徳一体の教育により培われた人間力が求められます。学校法人廣池学園は「人づくり」のため、1935(昭和10)年の創立以来一貫して続けてきた道德教育、寮教育、国際教育、その他特色のある教育・研究活動の遂行と、その下支えとしての施設・設備等の充実に向けた取り組みを行っております。

麗澤各校の教育が評価を得ていますのも、建学の精神の具現化に努めてこられた先人・先輩のご尽力、保護者の皆様のご協力、卒業生諸氏の社会におけるご活躍の賜物であり、深く敬意を表しますとともに衷心より感謝申し上げます。

過日には、「麗澤教育充実資金」募金のお願いをいたしましたところ、麗澤各校の卒業生の皆様及び在学生・在校生の保護者の皆様をはじめ、公益財団法人モラロジー道德教育財団維持員の皆様並びに麗澤教育にご賛同いただいた皆様から多大なるご支援をいただきましたこと、ここに厚く御礼申し上げます。皆様から頂戴いたしました浄財は、麗澤教育への応援資金として有効に活用させていただく所存です。

今日の社会経済環境の中、度重なるお願いで誠に恐縮ではございますが、引続き格別のご高配を賜りますようお願いいたします。

学校法人 廣池学園
理事長 廣池 幹堂

学校法人
廣池学園

〒277-0065 千葉県柏市光ヶ丘2丁目1番1号 TEL:04-7173-3553
E-mail:bokin@ad.reitaku-u.ac.jp

募集要項

募金の名称 麗澤教育充実資金

募金期間 2022年4月1日～
2023年3月31日(毎年度継続)

募金の目的 麗澤各校の教育・研究の充実

募金目標額 2億円(2022年度)

使 途 ①教育・研究に要する経常的経費
②施設設備の充実

募金金額 個人寄付は 1口1,000円より、
1,000円単位でお願いいたします。
法人寄付は特に金額を定めておりません。

※ご寄付は、寄付者のご意向に沿って使用させていただきます。

顕 彰

ご芳志をお寄せいただきました方に感謝の気持ちを込めて、お名前をウェブサイト
(<http://kifu.reitaku.jp/>)に掲載いたします。(匿名を希望された方を除く)

募 金 方 法

個人

ウェブサイトでの寄付方法

お振込み

ウェブサイト

専用の「振込用紙」でのお申し込みは、必要事項をご記入の上、郵便局又は銀行からお振込みいただけます。また、ウェブサイトでのお申し込みは、**クレジットカード決済とペイジー決済がご利用いただけます。**

廣池学園

検索

にて検索してください。

スマホからも
簡単にアクセス
できます!



スマートフォン用
寄付金ページ



ここを押します

法人

専用の「振込用紙」でのお申し込みは、必要事項をご記入の上、銀行からお振込みいただけます。

お振込み

※専用の「振込用紙」等が必要な方は、募金事務局までご請求ください。

税制上の優遇措置

「麗澤教育充実資金」寄付金は、所得税法及び法人税法に基づき、寄付金控除を受けることができます。

個人

所得税

寄付金額が2千円を超える場合(寄付金額がその年の総所得金額等の40%を上回る場合は40%を限度とする)、その年分の**所得税について優遇**を受けられます。

住民税

寄付金額が2千円を超える場合、千葉県にお住まいの方は**県民税の控除**を、千葉県内の一部の市町村にお住まいの方は**市町村民税の控除**も受けられます。

法人

**受配者指定
寄付金**

「**受配者指定寄付金制度**」は、会社等法人が日本私立学校振興・共済事業団を通じて私立学校へ寄付する場合に支出した**寄付金の全額を損金の額に算入することができる唯一の制度**です。この制度を利用される場合、日本私立学校振興・共済事業団との事務手続きは、廣池学園が行います。



ICT革命による第4次産業の台頭、ビジネスのグローバル化、新型コロナウイルスの世界的大流行など、現代は混沌としており、様々な危機が迫っています。ただ、危機とは新しい始まりでもあります。異質なものを交換してつなぐタフさや変化に立ち向かうマインドを持つ人材を輩出することで、この時代を切り拓いていきたいと考えています。

麗澤大学の創業者・廣池千九郎(法学博士)は、知徳一体の理念の下、前身である私塾「道徳科学専攻塾」を開塾し、英語教育の重視、男女共学・全寮制の導入、国内外の有識者による講演など独自の教育環境を実現してきました。その革新的かつ実践的な学びは、現代にも受け継がれています。

外国語学部は、言語習得にとどまらず、ネイティブ教員や外国人留学生との交流から異文化理解を学ぶことができます。経済学部は、道徳一体の理念を根幹に据え、高い倫理観を持つビジネスリーダーを目指して、AI・データサイエンス科目群の設置など、時代を見据えた学習環境を揃えています。そして、多様な価値との共生を掲げて一昨年度設立した国際学部は、異なる文化や価値をつなぐコンセプトに世界の事象を学び、英語を武器に新たな知のあり方を探求し、世界で新しい価値を生み出す力を育みます。

さらに、2024年4月に工学部と経営学部を新設し、5学部体制にすることを構想しています。工学部は、情報システム工学・社会ロボティクス工学の2つの専攻を設け、工学的知識とリベラルアーツの素養をあわせ持つ人材、現代社会の課題を解決することができる人材を育成します。経営学部は、第4次産業の台頭や少子高齢化社会において、社会・ビジネス課題を解決する新しいビジネスと企業価値を創出する人材の輩出をめざします。

麗澤大学は、今後もさらに「小規模にこだわる。国際性にこだわる。」を理念とし、改革をし続け、すべての人が居心地よく勉学に励み、可能性を追求できる環境を整え、世界と地域に貢献する「品格あるグローバル人材」を育成してまいりますので、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

麗澤大学 学長 徳永 澄憲



卒業生の皆様方、保護者の皆様方をはじめ、本校を支援してくださっている全ての方々に、心より感謝申し上げます。今日平和な社会において、コロナ感染などで命が失われていく社会にあってこそ求められる「知徳一体」の教育を、各教科の授業、体育祭、文化祭、海外研修などの学校行事、部活動、生徒会活動、寮生活を通して展開しています。

全校生徒は「Chromebook」を文房具と同様、学校と家庭で、海外の講師とのオンライン英会話で、授業のリアル配信などで活用しています。英語教育、論理的思考力を育成する「言語技術」、長期休暇、高校の夜間講座に加え、寮での「インターナショナルタイム」など各種学習講座も一層充実してまいります。

部活動では千葉県、関東、全国、世界の舞台で活躍しています。特にSDGs研究会は「フェアトレードコーヒー」の普及活動を通じて、イリディオ・シメネス・ダ・コスタ駐日東ティモール特命全権大使による特別講演を開催しました。また、女子ラグビー部は全国第3位、全国屈指の強豪校に成長してまいります。

麗澤会(卒業生組織)のご協力によるキャリア教育、職業別講演会の開催に加え、本校の学習・進路指導も充実し、令和3年度国立大学医学部医学科に5名(私立大学を含めると9名)、薬学部にも29名、難関私立大学に216名が合格しました。

また、モラロジー道徳教育財団のご協力のもと、宇宙開発事業団種子島宇宙センター長、筑波宇宙センター長として日本人宇宙飛行士の教官にあたられてきた菊山紀彦先生には宇宙からみた地球、宇宙飛行士の訓練内容や国際宇宙ステーションでの生活や実験の様子について特別講演をいただき、まさに麗澤の学びは「世界」が教室となっています。

卒業後社会で活躍できる生徒の育成に「チーム麗澤」で力を注いでまいります。皆様方のご支援とご協力を重ねてお願い申し上げます。

麗澤中学・高等学校 校長 櫻井 譲

本校が掲げるビジョンは、タイトルの通りです。しかし、このビジョンは決して新しいものではありません。なぜなら、創立者が道徳科学専攻塾を立ち上げたときから、世界を舞台に活躍できる人材を輩出することを目指していたからです。さらに、本校の初代校長の廣池千英も、生徒たちに対して「国際的日本人になれ」と常々言ってこられました。ただの国際人ではなく、日本の歴史、価値観、道徳観を知り、それらを胸張って海外に発信できる人材を育てるということです。

現代社会は、先人たちが予想したとおりに、着実にグローバル化しました。そしてグローバル化は、ますます加速していると感じています。このような時代において、学校教育が果たすべき役割は何か。グローバル化に対応するために、単に語学力を高め、世界と戦えるさまざまな能力を身につけるだけでは、日本出身の優秀な人材が世界で活躍したとしても、やがて日本人はいなくなり、日本自体がなくなってしまう。本校は、日本人としてのアイデンティティをしっかりと持ち、世界で活躍できる能力を持った日本人を輩出する必要性を強く感じています。世界に誇るすばらしい歴史と文化を持っている日本。日本人としての誇りを持った、つまり日本人としての自己有用感が高い人材を育て、国家、社会の発展と人類の安心、平和、幸福の実現に寄与することを目指しているのです。

学園創立者や初代校長が目指した未来に想いを馳せ、私学の生命である教育理念を見つめ直し、本学園が創立100周年を迎える2035年に向け、今後も新しいチャレンジを続けていきたいと思えます。

麗澤瑞浪中学・高等学校 校長 藤田 知則



保護者の皆様、また卒園生やその保護者の皆様には、いつも温かいご支援をいただきまして、心より感謝申し上げます。

麗澤幼稚園は、昭和55年4月に前身である保育園から、幼稚園としてスタート致しました。その後、創立20周年の平成13年4月に新園舎となって、はや20年がたちました。創立以来、園の教育目標である「優しく思いやりのある子」「ありがとうと言える子」「自分のことは自分でする子」の育成を目指し、教職員一同心をひとつに教育活動を展開しております。

さて、麗澤教育の更なる充実を図り、教育内容では、令和3年度よりネイティブ講師2名の常駐による毎日15分、週に1回は30分の英語指導が保育活動に加わりました。園児のめざましい英語力向上を実感しているところです。また課外教室では、体育・英語・習字・プログラミング・ラグビー・チアダンスの中で、習字とラグビーは開設日を2日に増やして豊かな教育環境を提供でき、喜んでいただいております。

一方「満3歳児クラス」を含めた「2歳児」の子ども達を預かる施設として、令和4年度より新たに子育ての森「どんぐり」がオープンします。子育て支援ホールでは、増加する預かり保育ニーズにも対応し、更なる充実を図ってまいります。また昨年度は、子育て広場「あいあい」や赤ちゃん教室「ほっぷ・すてっぷ」の会場として利用している「さくら」の拡張工事も行い、大型遊具も導入されてリニューアルオープンしました。今後も地域の子育て拠点をめざし、多くの方に安心して子育てを楽しんでいただけますよう努めていく所存です。更なる麗澤幼稚園の充実や発展に向け、「麗澤教育充実資金」として皆様の温かい教育支援をぜひ賜りますよう、よろしくお願いいたします。

麗澤幼稚園 園長 中澤裕隆

